

令和6年度

私立学校若手教員全国研修会・私立学校中堅教員研修会(西日本・兵庫会場) 実施報告

実施：一般財団法人日本私学教育研究所 / 後援：日本私立中学高等学校連合会

研修テーマ 生成 AI 時代の私学教育～私学が大切にすべき教育とは？～

生成 AI や ICT 機器の普及が教育現場に様々な影響を与える中、私学が重要視する「こころの教育」や、建学の精神に基づく学びを今一度見つめ直す必要があるのではないかと考えたのもと、本研修会では、生成 AI の活用が前提となるこれからの社会で、全人教育を標榜する「私学」だからこそ実現できる学びとは何か、彩り豊かな講演、講義・ワークショップ、懇談会などを通じて考察する機会とした。

会 期 令和6年10月11日(金)～10月12日(土)

会 場 スペースアルファ三宮 (兵庫県神戸市)

参加人数 若手教員 24 名 / 中堅教員 39 名

参加対象 都道府県私学協会に加盟する全国の私立中学校・高等学校・中等教育学校に在籍する教員で、過年度初任者研修地区研修会ならびに若手教員全国研修会に参加した経験年数 5～10 年程度の若手教員、経験年数 10～20 年程度の中堅教員(学校長の推薦する者)

日程細目

【1日目】 10月11日(金)

9:30	受付(会場:特大会議室内)	
10:00	開会式(30分) 【司会】川本芳久・一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長	
	1. 開会	
	2. 主催者挨拶	吉田 晋・一般財団法人日本私学教育研究所理事長
	3. 所長メッセージ	平方邦行・一般財団法人日本私学教育研究所所長
10:30	4. 閉式	
10:30	若手・中堅 合同	
	研修1 講演(60分)	
	【司会】田部雅昭・梅花高等学校教頭	
	演題:私学人としての使命～ぬくもり伝えて46年～	
	講師:工藤誠一・聖光学院中学校・高等学校 理事長・校長(一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会理事長)	
11:30		
11:30	休憩・昼食(60分)	
12:30	若手・中堅 合同	
	研修2 講演(75分)	
	【司会】伊藤佳貴・大同大学大同高等学校校長補佐	
	演題:生成 AI と向き合う学校教育	
	講師:広石英記・東京電機大学 副学長	
13:45		
13:45	休憩(15分)	休憩(15分)
14:00	若 手	中 堅
	研修3 講義・ワークショップ(165分) 会場 中会議室	研修3 講義・ワークショップ(165分) 会場 大会議室
	【司会】田部雅昭・梅花高等学校教頭	【司会】伊藤佳貴・大同大学大同高等学校校長補佐
	演題:生成 AI 時代に求められる力を探る ー若手教員に必要な思考力とは?ー	演題:学習者が自走する学びのデザイン
	講師:伊藤貴昭・明治大学文学部 教授	講師:三井一希・山梨大学教育学部 准教授
16:45		
16:45	休憩(15分)	

17:00	若手・中堅 合同	
	教育懇談会(90分) 会場 特大会議室	
	【司会】伊藤佳貴・大同大学大同高等学校校長補佐	
	1. 開宴	
	2. 乾杯挨拶 摺河祐彦・私立学校初任者研修等事業検討委員／姫路女学院中学校・高等学校理事長・校長	
	3. 歓談	
18:30	4. 閉宴	
18:30	解散	

【2日目】 10月12日(土)

9:30	若 手	中 堅
	研修4 講義・ワークショップ(165分) 会場 中会議室 【司会】田部雅昭・梅花高等学校教頭 演題:生成 AI 時代に必要な ソーシャル・エモーショナル・ラーニング ー子どもたちの社会情動スキルをどう育てるか?ー 講師:渡辺弥生・法政大学文学部心理学科 教授	研修4 講義・ワークショップ(165分) 会場 大会議室 【司会】伊藤佳貴・大同大学大同高等学校校長補佐 演題:私学ならではの探究のグランドデザイン 講師:広石英記・東京電機大学 副学長
12:15	休憩・昼食(60分)	
13:15	若手・中堅 合同	
	研修5 講義・ワークショップ(135分) 会場 特大会議室 【司会】伊藤佳貴・大同大学大同高等学校校長補佐 演題:生成 AI 時代の私学教育～私学が大切にすべき教育とは?～ 講師:広石英記・東京電機大学 副学長	
15:30	休憩・アンケート記入	
15:45	閉会式(15分)	【司会】田部雅昭・梅花高等学校教頭
	1. 開式	
	2. 講評 菅沼宏比古・私立学校初任者研修等事業検討委員／学校法人西海学園理事長	
	3. 修了証授与	
	4. 閉会	
15:45		
16:00	解散	

私立学校初任者研修等事業検討委員

菅 沼 宏比古 学校法人西海学園理事長
摺 河 祐彦 姫路女学院中学高等学校理事長・校長
西 山 啓 一 学校法人同志社理事

私立学校〔若手教員研修・中堅教員研修〕運営委員

田 部 雅 昭 梅花高等学校教頭
伊 藤 佳 貴 大同大学大同高等学校校長補佐

都道府県別参加人数

【若手】 24名(12都道府県)

都道府県	参加人数	都道府県	参加人数	都道府県	参加人数
北海道	0	石 川	1	岡 山	2
青 森	0	福 井	0	広 島	3
岩 手	0	山 梨	0	山 口	0
宮 城	0	長 野	0	徳 島	0
秋 田	0	岐 阜	0	香 川	0
山 形	0	静 岡	0	愛 媛	0
福 島	0	愛 知	3	高 知	0
新 潟	0	三 重	2	福 岡	1
茨 城	0	滋 賀	0	佐 賀	1
栃 木	0	京 都	0	長 崎	1
群 馬	0	大 阪	5	熊 本	1
埼 玉	0	兵 庫	1	大 分	0
千 葉	0	奈 良	1	宮 崎	0
神奈川	0	和歌山	0	鹿児島	2
東 京	0	鳥 取	0	沖 縄	0
富 山	0	島 根	0	合 計	24

【中堅】 39名(16都道府県)

都道府県	参加人数	都道府県	参加人数	都道府県	参加人数
北海道	2	石 川	3	岡 山	3
青 森	0	福 井	0	広 島	2
岩 手	0	山 梨	0	山 口	0
宮 城	0	長 野	0	徳 島	0
秋 田	0	岐 阜	0	香 川	0
山 形	0	静 岡	0	愛 媛	0
福 島	0	愛 知	3	高 知	1
新 潟	0	三 重	4	福 岡	1
茨 城	0	滋 賀	8	佐 賀	1
栃 木	0	京 都	0	長 崎	1
群 馬	0	大 阪	2	熊 本	1
埼 玉	0	兵 庫	4	大 分	0
千 葉	0	奈 良	0	宮 崎	0
神奈川	0	和歌山	0	鹿児島	2
東 京	1	鳥 取	0	沖 縄	0
富 山	0	島 根	0	合 計	39

【1日目】 10月11日(金)

【開会式】

開会に際し、主催者を代表して吉田理事長より、「本日は『生成 AI 時代の私学教育～私学が大切にするべき教育とは？～』というテーマで研修を行う。生成 AI や ICT を教育にどう活用し、私学としてどのように向き合っていくかについて考える場としたい。中堅の先生方は熟達した教育方法を備え、若手の先生方は ICT をはじめとする新しい分野に精通している。中堅の先生方には、学校を牽引する原動力としての役割が期待している。若手の先生方は、中堅の先生方を支え、学校のプライドを持って生徒たちのために尽力できる教員になってほしいと願っている」との挨拶があった。

続いて平方所長より、「まず、それぞれ教員として受けた研修を振り返り、創造的な取り組みを見直すこと。次に、自身と学校との関係を再評価し、同僚と学校運営について考える時間を持つこと。そして最後に、次期学習指導要領や生成 AI のエネルギー消費問題など、社会の変化に対応し、私学ならではの、子供たちに必要な教育を提供するために、研鑽を積むことが不可欠である」とメッセージを送った。



【研修1】講演「私学人としての使命～ぬくもり伝えて46年～」／

工藤誠一・聖光学院中学校・高等学校 理事長・校長(神奈川県私立中学高等学校協会理事長)

工藤講師は、私学教員の特質を「個性豊かである」とし、それ故に私学は特色ある教育ができるとした。さらに政治と教育について、未履修問題や世界人権宣言、私立学校振興助成法など多角的な視点で取り上げ、神奈川県私立中学高等学校協会理事長として取り組んできた活動を紹介した。その中で、教育活動を進める上で政治との密接な関わりがいかに重要であることを強調した。

講演の最後に、某小学生と担任教師との物語を紹介し、どのような時代においても、教員の役割は「ぬくもりを伝えることである」と述べ、参加者に対し、そうした教員であり続けてほしいと激励した。



【研修2】講演「生成 AI と向き合う学校教育」／広石英記・東京電機大学 副学長

広石講師は、冒頭で生成 AI について「与えられたデータを学習し、新しいコンテンツを自動的に生成する技術である」と説明し、クリエイティブな作業の効率化と自動化によって人間の作業をサポートできる利点を挙げる一方、生成されるコンテンツの品質や信頼性を確保する難しさや、不適切な内容が生成されるリスクといった課題を指摘した。その上で、生成 AI を教育で活用する場合の利点と欠点を整理し、私学教育の根幹が全人的教育と人間性の育成であり、これを育む実体験は生成 AI では代替できないと強調した。また、私学らしい教育は、時代と学校の実情に応じて常に更新していく不断の営みであると述べた。



【若手・研修3】講義・ワークショップ:「生成 AI 時代に求められる力を探るー若手教員に必要な思考力とは？ー」／

伊藤貴昭・明治大学文学部教授

伊藤講師は、生成 AI 時代に必要とされる力を考える上で、生成 AI を使いこなすために求められる能力や、また生成 AI の普及により業務が代替されると、どのような力が使われなくなるのか参加者に問いかけた。生成 AI の発達により思考力の劣化が懸念されるとして、「自ら問う力」の重要性を強調した。問いを通して思考を深める手法の理解と実践を主眼に、疑問生成ツールを用いたワークショップや「哲学対話」を取り入れたワークショップも実施された。こうした問いのスキルが生徒の探究学習や思考力の発展につながることを示し、教育現場での実践を促した。



【中堅・研修3】講義・ワークショップ:「学習者が自走する学びのデザイン」／

三井一希・山梨大学教育学部准教授

三井講師は、2040年の日本が抱える労働力不足と多様な生き方に備え、社会変化に対応できる力を育む重要性を強調し、「自立した学び手」の育成と ICT 活用を前提に、個別最適な学びと協働的な学びの視点を提示した。講義では、インストラクショナルデザイン(ID)理論に基づき、学習者の自己目標設定と進捗管理の方法が解説され、参加者はグループで目標設定の難しさや授業デザインを討議した。また、メリルの ID 第一原理と ARCS モデルを活用し、学習者の動機づけと効果的な学習デザイン構築について議論した。



【教育懇談会】

教育懇談会では、摺河祐彦・私立学校初任者研修等事業検討委員より乾杯の挨拶があり、参加者はグループ毎に交流を深めた。後半は担当教科毎に分かれて歓談し、翌日の研修に向けて盛況のうちに初日のプログラムを終了した。



【2日目】 10月12日(土)

【若手・研修4】講義・ワークショップ:「生成 AI 時代に必要なソーシャル・エモーショナル・ラーニング - 子どもたちの社会情動スキルをどう育てるか? -」

渡辺弥生・法政大学文学部心理学科 教授

渡辺講師は、生成 AI の普及に伴い、子どもたちがいかに社会情動スキルを身につけるべきか問い、AI 時代における感情の管理や対人スキルの重要性を強調した。OECD の「Education2030」フレームワークを紹介し、子どもたちに必要な能力として、新たな価値想像力や対立への対処スキルなどを例示した。また、感情リテラシーや非認知能力の発達が学業や社会生活にポジティブな影響をもたらすエビデンスも紹介した。さらに、感情表現のスキルや思考力向上のため、声や表情を通して感情を読み取る練習や、カードを使った感情リテラシー強化のワークショップを行い、また、教室の雰囲気子ども成長に与える影響についても触れ、環境改善の具体策として「感情の見える化」を推奨した。



【中堅・研修4】 講義・ワークショップ:「私学ならではの探究のグランドデザイン」/ 広石英記・東京電機大学 副学長

広石講師は、「私学らしい探究学習の構想」をテーマに、私学教育の基盤として「目指すべき理念(建学の精神)を共有し、それを具体化する個性的な教育を展開してこそ私学教育は輝く」と述べ、建学の精神や教育目標に基づく教育の重要性を強調した。参加者は、ワークショップを通じて「スクールポリシー」や「グランドルーブリック」の具体的な設定方法を学び、私学ならではの個性ある教育目標を実現するためのデザイン方法を探った。また、地域のリソースや課題を活かした探究プロジェクトの構想を行い、各学校が育成を目指す資質・能力(GP)に基づいたプロジェクトを構築する重要性を説いた。さらに、カリキュラム全体で一貫性を持たせるため、ルーブリックの活用による教育評価や目標の「見える化」の重要性を強調した。



【若手・中堅合同・研修5】 講義・ワークショップ:「生成 AI 時代の私学教育～私学が大切にすべき教育とは?～」/ 広石英記・東京電機大学 副学長

2日間の両研修会のまとめとして、広石講師のファシリテーションによりワークショップが行われた。主題は、生成 AI 時代における私学ならではの教育の在り方と、それを具体化するための「建学の精神」及び「スクールポリシー(SP/GP)」の活用で、参加者は、私学特有の教育理念に基づいた全人教育の重要性を再認識し、個性的な教育目標を具現化するための私学の建学の精神を反映した「グランドルーブリック」の作成方法を学んだ。さらに、教育目標の具体化とカリキュラム設計に一貫性を確保するための手法が解説され、ルーブリックを活用した教育方針共有の重要性を強調した。



【閉会式】

研修会の講評として、西山啓一・私立学校初任者研修等事業検討委員は、「内容の濃い2日間の研修を終えて、自身だけでなく『私学にとって』良かったと感じていただけたら主催者として幸いである。研修は、参加された先生方が学校現場に戻りアウトプットして初めて意味がある。ぜひとも授業や生徒指導の場面で積極的に実践してほしい。本研修会で取り扱った生成 AI は、プロンプトを与えれば一瞬で回答を示すが、我々には疑問を抱き、熟慮する力がある。AI はツールであり、効果的に教育に活用して、参加された先生方のさらなる活躍を期待する」と述べた。



参加者アンケートより

【若手】回答者 24名/参加者 24名 (回答率 100%) 【中堅】回答者 36名/参加者 39名 (回答率 92.3%)

若手・中堅合同 研修1「私学人としての使命～ぬくもり伝えて46年～」/工藤成一・聖光学院中学校・高等学校 理事長・校長

○公立学校と私立学校の違いを理解し、私学の意義を改めて感じる事ができた。(若手)

○今、向き合うべき私学教育について考えを深める事ができた。(中堅)

若手・中堅合同 研修2「生成 AI と向き合う学校教育」/広石英記・東京電機大学 副学長

○AI の功罪と建学の精神という普遍のものと最新技術を結びつける事ができた。(若手)

○生成 AI の限界を知ることが重要であり、その教育が必要だと感じた。(中堅)

若手 研修3「生成 AI 時代に求められる力を探る～若手教員に必要な思考力とは?～」/伊藤貴昭・明治大学文学部教授

○「良質な問い」への理解が深まり、探究学習で活用したいと思った。

○教育活動において、生徒が目の前のことに疑問を持てるような工夫をする必要があると理解できた。

中堅 研修3「生成 AI 時代に求められる学びのあり方」/泰山裕・中京大学教養教育研究院教授

○日頃の授業で生徒に「教えすぎている」と再認識し、目標提示の重要性が分かった。

○デジタルデータの活用、将来の社会展望など刺激的な内容が多く、素晴らしかった。

教育懇談会

○様々な地域、教科の先生方と交流が持てたことは有意義であった。(若手)

○同じ教科の先生方と情報交換ができ、貴重な機会となった。(中堅)

若手 研修4「生成 AI 時代に必要なソーシャル・エモーショナル・ラーニング

～子どもたちの社会情動スキルをどう育てるか?～」/渡辺弥生・法政大学文学部心理学科 教授

○非認知スキルをどのように育てるかについて知識を得られた。

○グループワークで楽しく学ぶことができ、SEL についてより深く学びたいと思えた。

中堅 研修4「私学ならではの探究のグランドデザイン」/広石英記・東京電機大学 副学長

○積極的にワークショップに取り組み、内容の濃い学びとなった。

○建学の精神を基に探究学習を構想した経験はなく、非常に新鮮であり、大変参考になった。

若手・中堅合同 研修5「生成 AI 時代の私学教育～私学が大切にすべき教育とは?～」/広石英記・東京電機大学 副学長

○ルーブリックを作成することの大変さが理解でき、協働的にワークショップに取り組む過程でやりがいも感じられた。(若手)

○想像していたよりも実のある学びになり、自校に戻って成果を還元したいと思った。(中堅)

次年度（令和7年度）私立学校若手教員全国研修会・中堅教員研修会は、以下の要領で開催いたします。

【西日本・愛知会場】 令和7年 9月19日（金）・20日（土） プライムセントラルタワー名古屋駅前店

【南日本・福岡会場】 令和7年 11月21日（金）・22日（土） 福岡ガーデンパレス

2025.2 一般財団法人日本私学教育研究所